

# 大分県報

46年 1月号

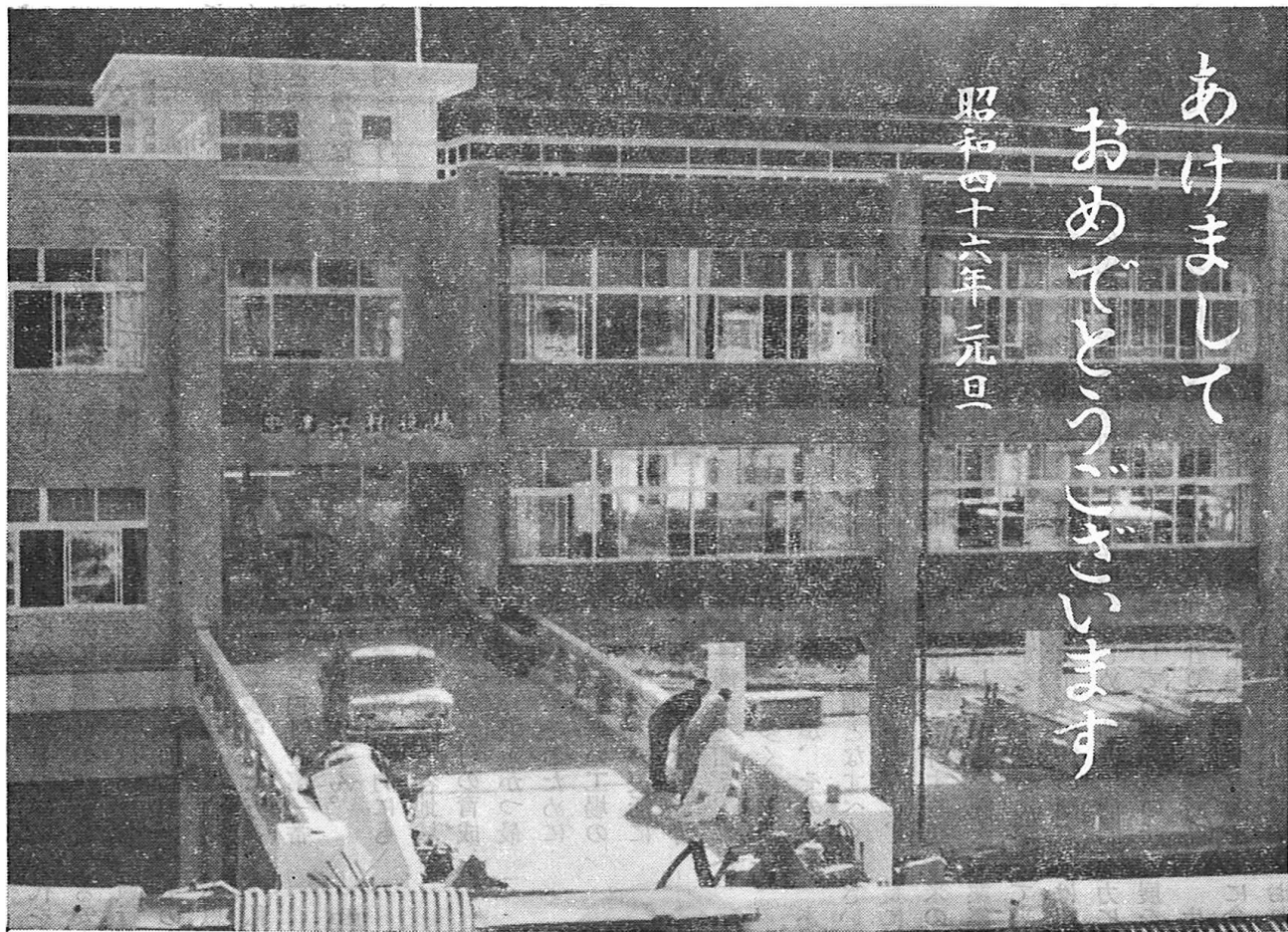
[第96号]

発行所

編集 発行人

大分県・日田・中津江村

川津一人



あけまして

おめでとようございます

昭和四十六年元旦

## 正月

除夜の鐘が鳴り終ると新年といい、新しい年を迎えたこととなります。一夜明ければきのうは去年であり今日はことし。たちまちのうちに年去り、年来たる。時の経つのがこんなに変わったしく、時代のうつり変わりに深い感慨をおぼえずにはられません。

ゆく年を回顧して新しい年への希望の出発点としたいものです。

正月を和名で睦月（むつき）といいます。

一年の最初の日を元旦といい、元日は子どもたちだけでなく、何となく清新な気分がみなぎって、家族全員「おめでたい」空気に包まれます。新しい年の出発点。今年も健康でしあわせでありますように。

### 村の動態

45年12月20日現在

|    |        |
|----|--------|
| 人口 | 3,134人 |
| 男  | 1,525人 |
| 女  | 1,609人 |
| 世帯 | 722戸   |

住民基本台帳から

# 年頭にあたりて

村長 児 塔 務



村民の皆さま明けまして  
お目出度うございます。  
昨年は鯛生金山の閉山と  
いう大変な出来事がありま  
して、沢山なつかしい人  
達が、新しい職場を求めて  
村を去って行きました。悲  
しく、淋しい年でありまし  
た。

## 年頭のごあいさつ

中津江村議会

議長 矢 原 金 吾



日本経済の成長は、まこ  
とに目覚まし、その為に  
大都市に人口が集中して農  
山村はさびれるという、い  
わゆる過密過疎の現象が起  
きています。

中津江村は金山の閉山と  
併せて若い人達の転出によ  
り、国勢調査の減少率が大  
分県で一番大きい村になり  
ました。

しかしながら中津江村に  
もまだまだ資源は豊富であ

新庁舎も完成いたしました。公民館活動を通して、今後の新しい村づくりのセクターとして十分機能を發揮して貰いたいと念じております。

基本構想に基き、児塔村政が着々その実現を見つつある事は誠に御同慶の次第でございます。今年には新庁舎公民館の落成も目前に迫っておりますし、私達は心気一変、村内に残られた方々の経済成長と福祉を第一に考えねばなりません。

地方自治体が経済的にも衰退している現在、各地域の特殊性に応じた村の育成振興を図る事は緊急かつ最も重要な事で、そのためには公害の心配の無い工場の誘致や、鯛生金山の復活に協力し、農協、森林組合育成になお一層力を加え、一面ダムのために多くの人や土地を失ったが、その代償として禍を福となすべく観光地としての開発をし、人々が期待して来村する観光地を設計し、国定公園としての指定を急ぎ、更に道路面では大川竹田線の国道昇格をはじめ、地方生活圏の一環としての村林道の新設拡充を計り、九州横断高速道路が中津江村の近隣を通るよう努力し、合せて広域市町村圏の有効な実施に努力し、中津江村が文化度

の高い豊かで住みよく、次代をになう若人達に魅力ある安定した村づくりに、村執行部、議会共に協力し、その実現を計る事が急務だと思えます。私達議員一同一致団結して年頭のごあいさついたします。

## 豊かな暮らしをきづく

中津江村農業協同組合

組合長 永 瀬 勇



あけましておめでとうございませす。他産業の経済成長につれ、反面農業行政は米の生産調整が強いられ農業経営の多難な時代となつて来ました。この中で農協は組合員各位の絶大な御協力により年次農協事業も発展を続けております。

生産調整による減反、更に食管法の改廢が叫ばれておりますが、本村に於いては消費者に喜ばれる良質米増産こそ私共の務かと存じます。

現在実施中の振興山村事業も着々と進み、梅、鶏卵選別所など当初の計画をそのまゝ実施にうつしておりその他特産の津江茶も更に増産をはかり肥培管理を行ない、各施設を有効に使い最近脚光を浴びた柚子等についても新植を図り津江特産としたいものです。

しかしながら、皆様のゆたかな暮らしを築くためには生活設計に基づく農協貯金農協共済、更に農協経営の目己資産である出資金増強が最も重要です。皆様の御支援、御協力を切にお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。  
村民各位におかれましては御健勝にて御多幸な新春をお迎えのことと存じ心から御祝辞申し上げます。  
昨年を振り返ってみますと、何かと多難な年で、農家の方々には農業経営の

盤である耕地が少ない上に減産を迫られ、農業経営のみでは生活ができなくなり林業方面でも収入の不安から労働力が村外の他産業に流出する結果となり、また村執行部においては、多年の計画であった村庁舎、及び公民館の新築に踏切った直後鯛生金山本山の閉鎖が過疎現象に拍車をかけ、本村の人口は減少の一途をたどりつつあります。

然し昭和四十四年十二月十八日提出された中津江村

# 本年もよろしく

教育長 村松 四郎



を知りました。」と激賞されたのであります。

あけましておめでとうございませう。

昨年十月二十九日鯛生小学校において、九州へき地教育研究会が開かれました。県下は勿論九州各県のへき地にある学校から、多数の先生方がお集りになりへき地における教育のあり方について熱心な研究討議がなされました。

これは勿論先生方の真剣な研究、熱心な指導の結果であることは申すまでもなく、心から敬意を表わすものであります。鯛生小学校にかぎらず、村内各校の先生方は、打って一丸とした村内研究会を持ち、常に真剣な研究討議を重ね実践に移されておりますので、学校間の格差は全く見られません。それというの村民の皆様が、先生方を信じて物心両面に対しておしめない御援助を賜り、何かにつけ深い御理解を戴けばこそここに更めて厚く御礼を申し上げます。

学校教育にへき地性を生かすこと、中津江村も時流には抗し難く人口の漸減過疎化の進行を余儀なくされる中で、晴天のへきれきともいふべき鯛生金山の閉塞に見舞われ、いよいよこれに拍車をかけ

られたわけで、お互い村民の連係もみだれがち、乱れ飛ぶ情報に戸惑う今日比の頃のようにございますが、幸い見事に竣工した新庁舎の隣りに、中津江村中央公民館が建設されつつあります。この公民館こそ村民みんなの話し合いの場であり、ここでみんなが親睦を深め、意志の疎通をはかり、ここに切磋琢磨し、また個人学習にグループ学習に利用して、教養を高め趣味を深め、時々レクレーションの場としても、楽しいみんなの村作りの拠点としたいものだと思います。

本年もよろしくお願いいたします。

書き初め

マンネリだが今年もまたこれでいくぞ



## 成人式を迎えた

### 私の主張

#### わき道にそれず

一直線に進みたい

宮田部落

川津 由美子

成人のびをしたがる人もおり、式を迎え年若い者は……と、よく言われるのも結局自分をふり返らないこれ等若い人に対する警告かと思えます。背のびをしなくても、無理をしなくても、自分の立場、自分の仕事を忠実に反



今までみたくない行動や、人に対しての話し方、接し方その他いろいろのすべてに面において、これから先は大人として自覚と責任ある言動が要求され、また当然そうあるべく日常生活に注意が必要かと思えます。成人式を迎へ、大人の一人となったと申しましても大人として、社会人としての仕事は無知な事だらけの私達であります。常に努力し勉強しなくてはなりません。それなのに、中には背

省し、つねに努力しておればいつか必ず時期が訪れ、いやでも背のびをせねばならない様になると思います。少しづつでも多くの人の意見を聞き、学び考えたいいろいろな事にも進んでぶっかり知識を広めたいと考へています。

ようやく大人の社会が手にふれる処に來ました。これからさき、多くの良き先輩達を見習って脇道にそれることなく一直線に進んで行く事を願っている私です。率直なお叱り、御指導御鞭撻をお願いします。

#### 役場新庁舎が完成

移転すべて終る

中津江村役場の新しい庁舎が完成しました。

村民のみなさんが気軽に出入りが出来るように設計され、明るくそして一度で用件が済むように、窓口事務を集中管理されることになっております。

議会関係、選挙関係を三階に、一般事務はすべて二階に収められ、教育委員会保健衛生を除いた以外はすべて一室の事務室で処理されます。

庁舎は去る十日に完成し、十五日に開かれた定例村議会会で移転の承認を受け、二十一日から正式に新しい役場で事務を行なっています。

